

令和6年度の取り組み

当初、山岳協会として登山を主体として出発した当協会も、夏はスポーツクライミング、冬は山岳スキーと2つのオリンピック競技を抱える競技団体へと変貌している。

一昨年度は9000万円を越す大幅な赤字を計上し、昨年はその後処理と対応に終始した。加盟団体始め、顧問・参与など多くの方々には多大な迷惑と心配をおかけした。しかも、昨年度も赤字となり、元の健全な財政状況に戻すにはかなりの努力を要し、体制を抜本的に変えていく必要がある。これには永い年月を要するかも知れない。赤字の原因は、主にスポーツクライミング競技(以下SCという)に起因するが、協会全体としての体質にも原因がある。登山部門をはじめ、SC及び山岳スキー(以下スキーモという)の競技サポート体制の将来的な再建計画を策定し、実施していかなくてはならない。国際的な動向や変化は非常に速い。従って長期計画を立てても2,3年ごとには、見直すことが必要になるので適時に対応していく。

そのような中であっても、公益法人として組織のガバナンス機能の強化・コンプライアンス等法令遵守など、内に外に大きな安定性を求められている。この現状を鑑みても人材の確保や教育訓練、さらに資金の確保など一筋縄ではいかない問題が山積みしている。我々は社会的責任を意識しながらこのような難問を克服していかなくてはならない。昨年後半には基金制度を創設し、急場を凌いだ。本年も取り組むことになるかも知れない。

一朝一夕には出来ないが、下記の項目において、少しずつでも前進していく。

1. 協会としての組織体制について

ガバナンスが効き、コンプライアンスの遵守ができる堅固な組織体制の確立、広報宣伝体制、資金確保、財務体質の根本的解決をする事。SDGsの推進は世の趨勢であり簡単にはいかないが、人材の育成、協会のスリム化の検討が必要である。以前策定した中長期計画の見直しと、確固とした中長期計画の再立案が必須である。

組織の基盤である各都道府県山岳連盟・協会との連携、競技の安定運営のための補助金等交付元の上部団体との連携、スポンサー獲得/マーケティングの重視、底辺を支えるITシステムの確立が必要である。

2. 競技力向上

(1) スポーツクライミングは、パリオリンピックの年であり、戦略的に活動する。

(2) 山岳スキーは、2026コルチナダンペッチオ冬季オリンピック上位入賞を目指すべく活動する。

国スポ大会ほか各種大会の効果的・効率的なマネジメントを確立する。アンチドーピング(以下ADという)体制を強化する。

3. 山岳

(ア) 夏山リーダー、指導員/コーチの育成、普及委員会/全日大会、安全登山研修、レスキュー研修を継続して行い、大きな社会問題である遭難対策につなげる。

(イ) 海外登山奨励、ウインタークライマーズミートなどアルパインクライミングの振興に努める。

4. 各国際連盟との連携に努め、日本のグローバルでの地位向上を図る。

IFSC, ISMF, UIAA, UAAA等との連携を密にする。アジア山岳連盟創立30周年記念事業を成功させる。

5. 国内の諸団体との連携を深める。

JSC, JSP0, JOCや、山岳3団体等との関係も重要である。

6. 地球規模の問題として、環境問題、気候変動についての協力、研究を行う。

7. 保険に関して

登山、競技に関わらず保険加入は必須である。講習会、研修会時の事故担保として保険加入を強く勧めていく。

令和6年度 JMSCA 事業計画（令和6年3月14日現在）

Ⅲ. 事業内容

令和6年度の事業の一環として以下の日程が設定されている。

監事監査 期末監査 2024年 5月30日（木）、31日（金）
令和6年度総会 2024年 6月23日（日）

2024年4月1日～2025年3月31日までの令和6年度事業予定について記す。

網掛けは JSC 補助事業。

1. 安全登山普及事業

網掛けは JSC 補助事業。

(1) 青少年育成事業(普及委員会)

ア) 高体連登山専門部関連

- ① 第67回全国高等学校登山大会の開催 令和6（2024）年度福岡県大会
8月2日（月）開会式、そえだ公民館 8月2日（金）～ 5日（日）登山行動
8月6日（火）閉会式、山城は英彦山、岳滅鬼山
- ② 第16回全国高等学校選抜スポーツライミング選手権大会の開催
12月21日（土）～22日（日）埼玉県加須市市民体育館

イ) ジュニア登山教室

- ① 「少年少女登山教室」の開催（委託実施）
「未実施の岳連（協会）への積極的な取り組みをお願いしたい。」
- ② 「登山普及情報交換会」開催
2025年2月8日（土） 場所未定

(2) 登山に関する文化・学術の振興事業(普及、総務委員会)

ア) 新聞・ラジオ・テレビ・雑誌等への情報提供

イ) 登山に関する情報・資料の収集

ウ) 表彰・感謝状・推薦・顕彰

- ・2024年度実施各競技大会入賞者（1位～3位）表彰
- ・第60回全日本登山大会功労者特別表彰（10回以上の参加者）及び開催地関係者への感謝状（団体）贈呈
- ・2024年度永年参与感謝状贈呈
- ・特別功労者表彰
- ・第14回日本山岳グランプリの公募と顕彰
- ・2024年度各種スポーツ賞表彰候補者の推薦
朝日スポーツ賞、日本スポーツ賞、毎日スポーツ人賞、ビッグスポーツ賞、ミズノスポーツメントール賞、日本スポーツグランプリ等
- ・2024年度日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰候補者の推薦

- ・ 2024年度自然公園指導員自然環境局長表彰候補者の推薦
- ・ 2025年度叙勲及び褒章候補者の推薦
- エ) 2024年度海外登山隊奨励金の公募と選考(国際事業の項)
- オ) 各種登山・山岳スポーツ大会・山岳文化講演会等の後援
- カ) 日本山岳文化学会等と連携しながら、山岳文化の普及・振興を図る

(3) 安全登山の啓発事業(普及、遭対、国際の各委員会)

普及委員会

- ア) 安全登山指導者研修会(国立登山研修所他共催)の実施
- ① 東部地区(富山県) 9月27日(金)～29日(日)
 - ② 西部地区(高知県) 11月15日(金)～17日(日)
- イ) 安全登山事業(国立登山研修所と共催、普及委員会より)
- ① 高等学校等登山指導者夏山講習会
7月19日(金)～20日(日) 長野県山岳総合センター・周辺山域
ウェブ会議システム 年3回(5月上旬公表予定)
 - ② 安全登山サテライトセミナー
大阪会場: 6月22日(土) 株式会社モンベル本社
東京会場: 12月22日(日) 一橋講堂
ウェブ会議システム 年6回予定(5月上旬公表予定)
Plus(ウェブ会議システム)8月10日(土)、11月23日(土・祝)
 - ③ 登山リーダー夏山研修会 8月18日(日)～23日(金)
国立登山研修所及び剱岳周辺
 - ④ 山岳遭難救助研修会
2024年10月7日(月)～11日(金) 国立登山研修所及び周辺山域
 - ⑤ 積雪期登山基礎講習会
2025年 1月31日(金)～2月2日(日)
国立登山研修所及び周辺山域(富山県立山)
 - ⑥ 登山リーダー冬山研修会
2025年 2月23日(日)～28日(金) 国立登山研修所及び周辺山域
- ウ) 第60回全日本登山大会の開催
2024年 9月21日(土)～23日(月) 新潟県
- エ) 第8回「山の日」全国大会 東京2024
2024年 8月11日(日)～12日(月)

遭難対策委員会

- ア) 山岳レスキュー講習会
- ① 無雪期(富山県・国立登山研修所) 6月21日(金)～23日(日)
 - ② 積雪期(群馬県・土合山の家) 2025年1月24日(金)～26日(日)
- イ) 地方講習会講師派遣事業
地方(各都道府県)で開催される講習会へ、要請に応じて講師を派遣する。

ウ) 研修及び研究会

① 対常任委員研修会 日程、場所調整中

内容：無積雪期・積雪期レスキュー講習会に向けた準備と研修

② 遭難対策委員長会議・研修会

6月29日(土)～30日(日)

開催場所：東京海員会館

③ 全国山岳遭難対策協議会

7月12日(金)

開催場所：文部省

エ) 遭難事故防止のための研究・指導及び実態調査

・減遭難キャンペーン「ストップ・ザ1000」の啓発活動

・登山届システム・コンパスの協定未締結府県の解消

・山岳保険の普及促進

・都道府県単位での道迷い対策等の減遭難活動実施

オ) 令和6年度全国山岳遭難対策協議会の共催(スポーツ庁他)

カ) 遭難事故科学的研究・他支援

・日本雪崩捜索救助協議会(AvSAR協議会)参画

キ) 遭難委員会 年間オンライン等

ク) 「国内旅行傷害保険包括契約」実施

国際・アルパインクライミング委員会

ア) 令和6年度国際委員ミーティング及び第60回海外登山技術研究会

日程：6月15日(土)、16日(日) 場所：東京都武蔵野市武蔵野公会堂

イ) 海外登山懇談会 日程：11月 会場：未定(都内)

ウ) 助成事業 国内ウインタークライマーズ・ミーティング 2025年2月

(4) 登山指導者育成事業(指導委員会)

ア) 指導員研修会

① 全国指導委員長会議

6月1日(土)～2日(日) 現地とオンラインのハイブリッド開催

埼玉県立県民活動センター 登山指導委員会、SC指導委員会共同で実施

② 登攀技術研修会(A級主任検定員・コーチ2養成講習会)

11月3日(日)～4日(月)に兵庫県で開催

③ 氷雪技術研修会(A級主任検定員・コーチ2養成講習会)

2025年2月1日(土)～2日(日) 大山(大山館)

④ 氷雪技術研修会(A級主任検定員・コーチ2養成講習会)

2025年3月15日(土)～16日(日) 谷川岳(土合山の家)

⑤ 上級夏山リーダー講師養成

6月くらいから講師養成講習会を東部、西部地区の2か所で開催

⑥ 上級夏山リーダー検定会 東部、西部で開催

- イ) 指導常任委員会 年間オンライン会議 (毎月第一月曜日)
- ウ) 国立登山研修所事業への協力 (夏山、積雪期、セミナー)
- エ) インターハイ 技術顧問参加 8月

2. スポーツクライミング事業

(1) 競技会運営事業(競技委員会)

- ア) 第12回リードユース日本選手権いわて盛岡大会
5月 4日(祝・土)～6日(祝・月)、岩手県盛岡市
- イ) 第10回ボルダージュース日本選手権いわて盛岡大会
5月11日(土) ～12日(日)、岩手県盛岡市
- ウ) ユースフューチャーカップ・ボルダー (仮称)
日程および会場 検討中
- エ) ユースフューチャーカップ・リード (仮称)
日程および会場 検討中
- オ) 第15回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会
12月21日(土)～22日(日)、埼玉県加須市
- カ) ボルダージャパンカップ2025
日程および会場 検討中
- キ) リードジャパンカップ 2025
日程および会場 検討中
- ク) スピードジャパンカップ2025
日程および会場 検討中
- ケ) 第5回スピードユース日本選手権
日程および会場 検討中

(2) 国体スポーツクライミング競技の主管(国スポ委員会)

五輪競技種目に沿った国体スポーツクライミング競技の推進

第78回 SAGA 国民スポーツ大会(佐賀県)

ブロック研修会の開催 11月～3月 全国9ブロック

- ① 第1回基準会議 5月18日(土) 13:00～ 佐賀県立多久高校会議室
- ② 組み合わせ抽選会 場所、JSOS ビル 9月7日(土) 午後2時
- ③ 各ブロック別大会、都道府県予選大会の開催 (委託実施)
- ④ リハーサル大会 6月8日(土)～9日(日)
九州スポーツクライミングベース SAGA 佐賀県立多久高校
- ⑤ 本国体スポーツクライミング競技10月12日(土)～14日(月)
(11日監督会議)
九州スポーツクライミングベース SAGA 佐賀県立多久高校
- ⑥ 次年度国体以降の開催県への指導
第84回島根国スポ正規視察実施予定
第5期実施競技選定対応

(3) 強化事業(強化委員会)

ア) オリンピック強化選手の選考

イ) 日本代表選手選考・派遣

① 代表 (S. A. B) 選手の選考

ウ) 代表選手の派遣

IFSC クライミング WC

4月～9月 世界各地

② ワールドカップ上海大会 中国・上海

4月 9日 ～ 4月10日

③ ワールドカップ呉江大会) 中国・呉江

4月12日 ～ 4月14日

④ ワールドカップソルトレイクシティ大会 米国・ソルトレイク

5月 3日 ～ 5月 5日

⑤ オリンピック予選上海シリーズ 中国・上海

5月16日 ～ 5月19日

⑥ オリンピック予選ブダペストシリーズ ハンガリー・ブタペスト

6月20日 ～ 6月23日

⑦ ワールドカップインスブルック オーストリア・インスブルック

6月26日 ～ 6月 3日

⑦ ワールドカップシャモニー フランス・シャモニー

7月12日 ～ 7月14日

⑧ ワールドカップ呉江大会 中国・呉江

7月17日 ～ 7月19日

⑨ パリオリンピックサポート フランス・パリ

8月 2日 ～ 8月10日

⑩ ワールドカップコペル大会 スロベニア・コペル

9月 6日 ～ 9月 7日

⑪ ワールドカッププラハ大会 チェコ・プラハ

9月20日 ～ 9月23日

⑫ ワールドカップ ソウル大会 韓国・ソウル

10月2日～10月6日

エ) 代表選手強化合宿 (海外・国内)

オ) ユース選手・指導者講習会の開催

カ) ジュニア・クライマー実態調査に基づく選手、指導者、保護者への
スポーツ障害予防啓発(医科学支援)

キ) 複合種目(リード、ボルダー)及びスピード種目への取り組み

ク) 選手の心身面の強化に対する取り組み

ケ) 競技者育成プログラムの作成と関連事業の検討

(4) 審判・ルートセッター事業(技術委員会)

各種競技会・国体スポーツクライミング競技への支援協力 ルートセッター派遣、
ブロック別研修会講師派遣

ア) 審判・セッター会議の開催 (2月)

イ) 全国ルートセッター研修会 年2回

・第1回:日程未定

・第2回:日程未定(高校選抜の後)

ウ) ブロック研修会等に合わせたの更新研修会 年数回

(5) SC コーチ養成講習会(SC指導委員会)

日程等については登山部のコーチ養成と歩調を合わせる。

① 全国指導委員長会議 6月1日(土)・2日(日) 埼玉県立県民活動センター

② コーチ養成講習会 主催; SC指導委員会 (JSPO委託開催)

③ 主任検定員養成講習会(コーチ養成講習会と同時開催)

東日本、西日本2か所で検討中

④ コーチ更新研修(コーチ養成講習会と同時開催)

東日本、西日本2か所で検討中

⑤ コーチ3養成講習会(共通科目4月1日申込締切)

(6) スポーツクライミング医・科学事業(SC医科学委員会)

ア) 各種大会における救護スタッフ派遣および救護活動

① BMI測定および血圧、脈拍

イ) 代表選手メディカルチェック事業

① REDsのチェック

ウ) 外傷・障害予防のための啓発事業

① ユース向け医科学講習会

② クライミング医科学講習会

エ) 調査、研究事業

① 障害実態調査

② 学会活動(日本臨床スポーツ医学会ほか)

オ) JSPO公認スポーツドクター、アスレチックトレーナー養成支援(受講希望者の推薦及び
代表者協議会への出席)

(7) ドーピング防止事業(アンチドーピング委員会)

ア) ドーピング防止思想の普及・啓発・教育など

① ドーピング検査実施(JADAに委託)

② ドーピング防止講習会開催

③ TUE(治療目的使用に関わる除外措置)申請の支援

④ ADAMS(アンチ・ドーピング管理システム)登録選手への管理支援

⑤ 競技会におけるアウトリーチ

(8) 倫理研修会事業(ガバナンス委員会、アンチ・ドーピング委員会)

AD・倫理研修会の開催(随時)

(9) 国際連盟役員獲得支援事業

スポーツ庁の委託を受けて実施する。

3. 登山関連競技会運営事業

(1) 山岳スキー、(山岳スキー委員会)

- ① 第18回日本山岳スキー競技選手権大会 2025年未定
- ② 八方パーティカル山岳スキー選手権 2025年4月上旬
- ③ ISMF(国際山岳スキー連盟)世界選手権派遣支援(2025年3月の7日間)
- ④ 国際大会派遣 ワールドカップ フランス 2024年11月
- ⑤ 国際大会派遣 ワールドカップ イタリア 2024年12月
- ⑥ 国際大会派遣 ワールドカップ スイス 2025年1月
- ⑦ 国際大会派遣 ワールドカップ アンドラ 2024年1月
- ⑧ 国際大会派遣 ワールドカップ イタリア 2025年2月
- ⑨ 国際大会派遣 ワールドカップ オーストリア 2025年3月

(2) スカイノトレラン普及・振興

- ① (一財)日本トレイルランニング協会、日本トレイルランナーズ協会、(一社)日本スカイランニング協会等との連携強化とトレラン事業の調査・協力

4. 登山研究調査事業

(1) 国際交流事業(国際・アルパインクライミング委員会)

ア) 国際交流

- ① 訪日する外国登山代表団との交流
- ② UIAA アイスクライミング選手権派遣支援

(2) 登山医・科学支援事業(登山部医科学委員会)

ア) UIAA MedCom

- ① UIAA MedCom Meeting への出席

イ) 支援している医科学的諸事業

- ① JSMM 国際認定山岳医研修会
- ② NPO 富士山測候所を活用する会
- ③ JSMM 登山者検診ネットワーク
- ④ 夏山リーダー制度、インターハイ支援

ウ) 調査研究事業

- ① 医療支援を視野に入れた学校登山の実態調査

5. 自然保護研究調査事業

ア) 研修及び研究会

- ① 令和6年度自然保護委員総会

6月の定例委員会に併合（リアルおよびWEB利用のhybrid会議）

- ②全国自然保護委員長および自然保護指導員参加の「第48回山岳自然の集い」
リアルおよびWEB利用のhybrid会議&講演会
11月開催、場所はJSOPビル会議室（40人規模）を予定
- ③2024年度山岳自然環境研究調査（神奈川岳連事業と共催）
神奈川岳連の丹沢での森林作業に参加。5月下旬および10月を予定。
- ④自然保護指導員フィールド研修会
6月に三つ峠で希少高山植物保護活動に参加する研修会を予定
- ⑤第14回自然保護指導員研修会
JMSCA主催、都岳連主管の自然保護指導員向け机上講習会
オリンピックセンターでのリアル会議
令和7年1月を予定

イ) 自然保護の啓発

- ①自然保護指導員制度の推進
 - ・全国の自然保護指導員の新規登録・更新作業
- ②自然保護広報資料の出版
 - ・自然保護指導員の手引きの更新
- ③全国環境月間(6月)の実施
 - ④ 環境省・自然公園指導員制度への協力
 - ・自然公園指導員の推薦、自然公園指導員活動報告まとめ・環境省への提出
- ⑤山岳自然保護関係団体と連携して自然保護委員会活動の推進
 - ・山岳団体自然環境連絡会への参加
 - ・各種環境保護事業の後援と派遣
- ⑥日本オリンピック委員会主催「スポーツと環境会議」への参加・協力
- ⑦全国山岳自然保護関係活動の集約とHP広報

6. 共益事業

(1) 広報等

- ア) 『登山月報』毎月15日定期発行 第661号（4月号）～第672号（3月号）
- イ) HPのタイムリーな更新 (<http://www.jma-sangaku.or.jp>)

(2) 会議等

- ア) 総会 2025年 6月23日(日)
- イ) 理事会 原則として毎月第二木曜日
6月は総会の15日以上前の日
- ウ) 全国理事長会議 2025年2月 9日(日)
- エ) 全国参与会 2024年9月 新潟県（第60回全日本登山大会開催時）
- オ) 常務理事会 原則として毎月第二木曜日
- カ) 委員長会議
- キ) 常任委員会 毎月1回以上開催

- ク) 事務局会議 (随時)
- ケ) 山岳4団体懇談会
- コ) (一財)全国山の日協議会 (随時)
 - ・ 上部団体 評議員会・理事会・運営委員会への出席
 - ・ 第8回「山の日」記念全国大会 8月11日(土)～12日(日)東京大会

サ) 国際会議

- ① 国際山岳連盟 (UIAA) 理事会
- ② 国際山岳連盟 (UIAA) 総会
- ③ アジア山岳連盟 (UAAA) 理事会
- ④ アジア山岳連盟 (UAAA) 総会
- ⑤ 国際山岳連盟登山部会
国際スポーツクライミング連盟 (IFSC) 総会
- ⑥ 国際山岳スキー連盟 (ISMF) 総会

(3) 総務等

- ア) 令和7年度定時総会 2025年6月22日 (日)
- イ) 令和6年度役員・会員名簿及び賛助会員名簿の作成・発行
- ウ) 議事録の整備
- エ) 山岳保険のPR (山岳雑誌広告、登山月報広告、マスコミ各社他)
- オ) 組織運営の円滑化のため、事務局体制の強化を行う。
- カ) JMCSA 会員のデータベース化 (JMCSA フレンド) の整備

(4) 財政等

- ア) 財源の確保
 - ① 山岳共済会々員の加入促進
 - ② 賛助会員 (個人・団体) の加入促進
 - ③ ロイヤリティー収入源の具体策を検討
 - ・ スポーツクライミングの安全確保を前提とした施設・用具等の安全基準の検討
- イ) 外部資金の導入
 - ① グローバル・パートナーの獲得
 - ② 寄附金の獲得
税額控除を活用して推進する
 - ③ 組織基盤強化助成金の利用 (令和6年まで)
- ウ) 常務理事会において毎月の収支報告
- エ) 国民スポーツ登山振興基金の管理
- オ) 山岳共済会 (事務センター) の運営管理・山岳共済会会計
- カ) 監事監査 期末監査: 2025年5月予定 (詳細日時未定)
中間監査: 11月初旬
- キ) 中間決算と補正予算について 10月
- ク) 2025年度予算案の作成 2025年1月

以 上